

令和四年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・国語 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見ずにはいけません。

注 意

- 一 この問題は四問、五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配布します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 国語

- 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

※著作権法に基づき掲載は省略します

出典は中村雄二郎「臨床の知とは何か」(一九九二年・岩波新書)

語注

※1 パトス……快樂や苦痛を伴う感情。

※2 西田幾多郎……哲学者(一八七〇〜一九四五)。

※3 最醇……最も純粋で、まじりけのないこと。

※4 森有正……哲学者、フランス文学者(一九一〜一九七六)。

問一 傍線部②「コクイン」、④「コンセキ」、⑤「キンミツ」のカタカナを漢字に直せ。

問二 傍線部①「経験の雛形」とあるが、筆者の考える「経験の雛形」を、本文中からそのまま抜き出して答えよ。

問三 に当てはまる言葉として最も適当なものはどれか。次のア〜カの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア しかしながら イ なげならば ウ このように エ たとえば オ じつのところ カ そもそも

問四 傍線部③「空まわりする」とはどのようなことか。本文中の言葉を用いて二十字以内で説明せよ。

問五 に当てはまる四字熟語として最も適当なものはどれか。次のア〜オの中から一つ選び、記号で答えよ。

ア 軽率妄動 イ 晴耕雨読 ウ 酔生夢死 エ 虚心坦懐 オ 明鏡止水

問六 傍線部⑥「こういうもの」とあるが、その指示内容を、本文中の言葉を用いて四十字以内で答えよ。

問七 傍線部⑦「純粋経験」の考え方とあるが、本文で述べられている「純粋経験」の具体例として適当なものを、次のア～オの中からすべて選び、記号で答えよ。

- ア 絵画鑑賞を趣味とするAさんは、長年見たいと思っていた名画を今実際に見ていることの喜びを実感した。
- イ 読書が好きなBさんは、翌日早起ししなければならないことも忘れて、徹夜で新刊を読み終えてしまった。
- ウ 入社したばかりのCさんは、早く仕事を覚えられるように先輩社員が言うことを必ずメモするよう心がけた。
- エ 小学生のDさんは、自転車に乗ることが出来るようになって母親に褒めてもらいたい一心で、懸命に練習した。
- オ 数学を勉強していたEさんは、集中して問題を解いていたために、友人に声をかけられても気づかなかった。

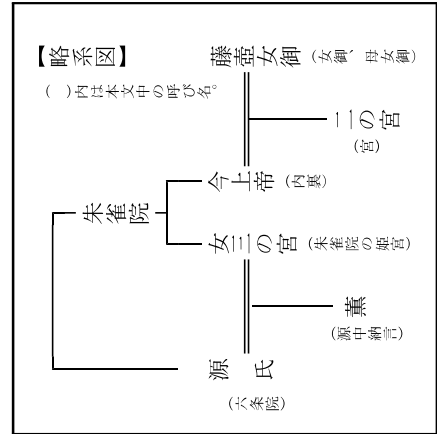
問八 傍線部⑧「われわれ一人ひとりの自己は、自覚をとおして、根源的経験の拡散し錯綜した関係性の結節点として、あるいはフォーカスとして、成り立つ」とあるが、どのようなことか。本文中の言葉を用いて五十字以内で述べよ。

□ 次の文章は、源氏物語「宿木」の一部である。源氏亡き後、その子である薫（母、女三の宮）が世間の注目を浴びる中、今上帝の娘である二の宮の成人の儀を控え、母、藤壺女御が準備する場面から始まる。これを読んで、後の問いに答えよ。

※著作権法に基づき掲載は省略します

語注

- ※1 裳着……女子の成人式。
- ※2 づしやかに……重々しく慎重なさま。
- ※3 大蔵卿、修理大夫……ともに平安時代の官職の一つ。大蔵卿は正四位下、修理大夫は従四位下。
- ※4 御心ひとつなるやうに……自分おひとり心配せねばならぬかのように。
- ※5 朱雀院の姫宮を六条院に譲りきこえたまひしをりの定め……朱雀院の皇女である女三の宮が、皇族ではない源氏に降嫁した事例を指す。女三の宮も、母や後見がいなかった。
- ※6 源中納言……薫。
- ※7 御覧する世……自分の在位中。
- ※8 ついで……順序。ここでは女三の宮の源氏への降嫁のこと。



問一 傍線部③「殿上人」、⑤「御衣」の語句の読みを、ひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。

問二 傍線部①「ん」、⑩「ぬ」の助動詞について、本文中での意味を次のア～キの中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- ア 完了 イ 推定 ウ 断定 エ 意志 オ 詠嘆 カ 希望 キ 強意

問三 波線部A～Cの敬語について、それぞれの敬意の対象はだれか。次の中からそれぞれ一つ選び、記号で答えよ。

- ア 今上帝 イ 藤壺女御 ウ 二の宮 エ 殿上人 オ 女官

問四 傍線部②「なべてならぬ」、⑧「はかばかしき」、⑨「世のおぼえ」の本文中での意味を答えよ。

問五 傍線部④「こよなくさうさうしかるべきわざかな」、⑥「いとどらうたげにあてなる気色まさりたまへり」をそれぞれ現代語訳せよ。

問六 傍線部⑦「うしろやすくは見たてまつらせたまへど」とあるが、その内容の説明として最も適当なものはどれか。次のア～オの中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

- ア 帝は宮のことを頼もしくお思いになるが、ということ。
 イ 宮は帝のことを頼りにお思いになるが、ということ。
 ウ 帝は宮のことを気がかりにお思いになるが、ということ。
 エ 宮は帝のことを不安にお思いになるが、ということ。
 オ 帝は宮のことを世話しようとお思いになるが、ということ。

問七 傍線部⑩「いでや飽かずもあるかな、さらでもおはしなまし」とあるが、これは女三の宮の降嫁当時、東宮(皇太子)であった今上帝の感懐である。帝はどのように思っていたか。二十字以内で答えよ。

問八 傍線部⑩「そのついでのままに、この中納言より外に、よろしかるべき人、また、なかりけり」とあるが、今上帝がそのように考えた理由を二つ述べよ。

二

「高等学校学習指導要領」(平成三十年告示)国語科の各科目(古典探究を除く)の目標には、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させる態度を養うことが示されている。あなたは、その育成のために、国語の授業においてどのような単元を設定して授業を展開していくか。次の条件に従い、具体的に述べよ。

- 条件
- 1 単元は教材の名称ではなく、「…を…しよう」のように、中心となる言語活動の内容を表したものと設定すること。
 - 2 「話すこと・聞くこと」について指導する単元とし、指導時数は五時間とする。
 - 3 具体的な授業展開は、一時間目を①、二時間目を②のように番号をつけて、簡潔書きで述べる。

四 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合上、訓点を省略した箇所がある。

※著作権法に基づき掲載は省略します

出典は「孔子家語」(明治書院)

語注

- ※1 衛、※2 魯……ともに国の名。 ※3 駕……馬車。 ※4 河梁……河にかけた橋。
- ※5 懸水……滝。 ※6 三十仞……約七四〇メートル。ここでは滝の高さを指す。
- ※7 圜流……回流。渦巻く流れ。 ※8 魚鼈……魚とすつぼん。 ※9 鼈……青海亀とわに。
- ※10 厲……泳いで渡る。 ※11 涯……水際。 ※12 忠信……まごころ。 ※13 二三子……弟子たちを呼ぶ称。

- 問一 傍線部①「自」、⑤「遂」の読みを、送り仮名も含めてひらがなで答えよ。ただし、現代仮名遣いとする。
- 問二 傍線部②「方將厲之」に、「今しもこれを泳いで渡ろうとしていた」という意味になるように返り点を施せ(送り仮名は不要)。
- 問三 傍線部③「孔子使人並涯止之」を、「之」の指示内容を明らかにして現代語訳せよ。
- 問四 傍線部④「不以措意」の内容の説明として最も適当なものはどれか。次のア～エの中から一つ選び、記号で答えよ。
- ア 孔子の言葉に口を挟まなかったということ。 イ 孔子の言葉が理解できなかったということ。
 - ウ 孔子の言葉に返事をしなかったということ。 エ 孔子の言葉を気にもとめなかったということ。
- 問五 傍線部⑥「所以能入而出者何也」について、次の(1)、(2)の問いに答えよ。
- (1) 訓読する際の読みを、すべてひらがなで書け。ただし、現代仮名遣いとする。
 - (2) 現代語訳せよ。
- 問六 傍線部⑦「不敢以用私」について、「用私」の内容をわかりやすく示しながら現代語訳せよ。
- 問七 傍線部⑧「識之」とあるが、孔子は弟子たちにどのようなことを記憶するよう命じたか。七十字以内で述べよ。